

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～19℃台を示し、平年並み～やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の30%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.9トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり20トンの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。
- イカ釣—スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり65kgの水揚げで、前週の2.7倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.2トンの水揚げで、前週の3.6倍。（前年並み）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり2kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網—五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり365kgの水揚げ。対馬西岸地区では、メジナなどが1日1統当たり18kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり80kgの水揚げ。
- 一本釣—北松宇久地区では、ブリが1日当たり314kgの水揚げで、前週の73%（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/25～1/31の7日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北西沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及山口沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）6日延43隻、総計1,360箱、1航海最高80箱、平均31.6箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>